

価値創造 モノづくりで存在感示す

飛躍 2014

京滋の優良企業トップに聞く

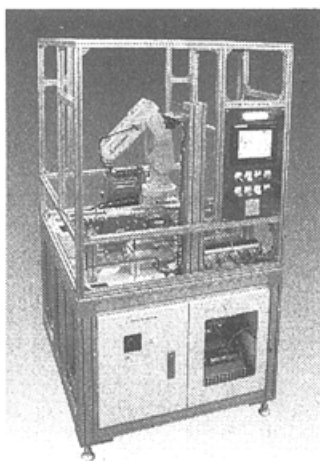
—2013年は海外拠点が増えました。

「まずは10月に中国・広東省の広州市に設立した広州中村機器自動化が本格稼働した。当社初の海外拠点だ。当面は営業・サービス拠点として活動し、自動車関連など現地の日系企業をメインユーザーに搬送機器や省人・省力化機械などの営業、保守メンテナンスを行っている。日本での顧客の多くが中国に進出し、現地調達

も高い。今後、現地調達も必要だ。今年より強力で活動している。

く。12月には、タイでの委託生産が始まった。日本の大手電機メーカーのタイ工場でコンベヤなどを生産委託、中国拠点向けやタイに進出する日系の顧客に供給している。当面は顧客まわりの需要の掘り起こしに努めたい。

—2014年はどんな取り組みで成長を目指すのでしょうか。「自動車関連での活況な設備投資、高水準の引き合い、意欲的なインドの醸成など環境は整った。自動化インや省力化機器などでこれまで一品モノと呼ばれる顧客オアシナルの装置が主だったが、搬送機器やエア機器など



基盤実装装置、システムとしての受注も多い

中国、タイで事業展開

革新と挑戦で挑む新3カ年計画

「14年度スタートの3カ年計画だ。コアである自動化

技術や省力化技術と、次々に製品開発につなげていく。当社の設計思想のBBS(ブロック・ビルディング・システム)によるインベーションを起し、人のための価値創造に活用していくという経営方針は変わらない。革新と挑戦で成長に挑む。数値目標はまだ明らかにできないが、売上高の10%を新製品で、15%を中国やタイなど新市場で達成したい。」



NKE 中村道一社長

で標準製品の開発にも力を入れていく。また、食品や医薬品などFA以外の市場からも自動化システムの発注が舞い込むなど顧客層は広がっている。着実にアプローチしていきたい。13年4月には社内体制を機器や電子、開発などのビジネスユニットに再選した。その成果として製品リニューアルや開発といったインベーションに磨きがかかっている。これをさらに加速、伸ば

「14年度スタートの3カ年計画だ。コアである自動化

